教育学入門Ⅱ

科目ナンバリング EDU-102
必修 2単位

野口 剛

1. 授業の概要(ねらい)

- 教育学は教員を養成するための学問と思われているかもしれませんが、教育学とはそれだけではありません。学校だけでなく、家庭や社会、さらには企業などにおける教育について、また、人間の発達そのものについて広く学ぶ学問です。この学部では、教員養成を中心としながらも、幅広く教育についての現象について学び、それぞれの分野の専門家を養成することを目指しています。
- この科目では、1年次配当の必修科目として、教育学部で学ぶ教育学とは何か、また教育学部で学ぶことのできる教育学の諸分野についてその概要と魅力を、各分野の専門の教員がそれぞれ個別に講義していきます。そのため、講義は概ね2回の講義で一つの主題について扱っていくことになります。この講義を通じて、教育学部で何を学んでいきたいのかを考え自分の追究したい主題を発見して行ってほしいと考えています。

2. 授業の到達目標

- (1) 広く教育学の諸分野について理解し、教育学の学修を始めるにあたっての基本的事項を修得する。
- (2) 教育学に関する「学び」を振り返り、教育の専門家を目指すにあたって、これからの「学び」の方向性や可能性について考えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 平常点60%(毎回の講義で課題が示される)
- (2) 特別講演会への参加およびまとめの課題等40%
これらを総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は特に用いません。各回の担当教員が必要に応じてレジュメ等を配布します。

参考文献

- 参考文献は、各回の講義において担当する教員が随時紹介します。

5. 準備学修の内容

- (1) 講義内で紹介された参考文献を積極的に入手して読んでおいて下さい。
- (2) 帝京大学図書館(MELIC)Webサイトのトップページにある「先生の本棚」、教育学部・教職大学院教員推薦図書リストから教員が薦める本を積極的に読み、教育の幅広い分野について知識や考え方を学んでおいて下さい。

6. その他履修上の注意事項

- (1) この科目は、1年次の必修科目です。毎回、課題が提示され、評価を受けますので、すべての授業回に出席を心がけて下さい。
- (2) 教育文化学科、初等教育学科初等教育コース、初等教育学科子ども教育コースの三つに分かれて受講します。学科・コースごとに教室・講義内容・順序等が異なりますので、必ず自分の所属する学科・コースの講義を履修して下さい。
- (3) 各回の担当教員や講義のテーマについては、初回のオリエンテーションにおいて示されますので、必ず出席して下さい。
- (4) 各テーマの講義から、教育学部においてどういった分野の事柄を学んでいきたいのか、広い視野から考えておいて下さい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション(「教育と学校の存在を考える」および授業の進め方・評価等の問題)
- 【第2回】 教育社会学・高等教育論入門Ⅰ(大学で学ぶということ)
- 【第3回】 教育社会学・高等教育論入門Ⅱ(大学院へ進学すること)
- 【第4回】 比較教育学(教育の国際比較)
- 【第5回】 教育哲学・教育史(歴史の窓から教育を見てみたら)
- 【第6回】 教育方法学入門Ⅰ(エスノメソロジー・会話分析からのアプローチ)
- 【第7回】 教育方法学入門Ⅱ(教育方法をめぐる3つのスケッチ ー授業研究・ICT活用・学校図書館活用ー)
- 【第8回】 教育行政学・教育経営学入門(学問的特徴と教員を対象とした実践の分析例)
- 【第9回】 スポーツ科学・健康教育学入門Ⅰ(健康行動理論と健康教育学)
- 【第10回】 スポーツ科学・健康教育学入門Ⅱ(組織文化という視点からとらえる体育の指導観)
- 【第11回】 環境教育学入門(「ごみ」問題を視点に考える環境教育)
- 【第12回】 学校教育学
- 【第13回】 教育工学・教育情報学入門(教育工学の誕生と発展、その到達点)
- 【第14回】 まとめ(振り返りの課題レポート)
- 【第15回】 特別講義(外部講師等による特別講演会「帝京大学で教育学を学ぶ学生に期待すること」(オンライン授業))